

豊中・サンマテオ
都市提携ニュース

第 18 号
昭和62年 6 月 1 日発行
豊中・サンマテオ
姉妹都市協会
事務局 豊中市市長公室
秘書課858-2010



閲覧用

日本の夏を駆けぬけた爽やかなサンマテオ旋風

ジャズダンスチーム特使団親善来訪

昨年7月、サンマテオ市から特使として、ジャズダンスチームの少女達が来訪しました。一行は、サンマテオ姉妹都市協会役員らの引率で、7月4日に成田空港到着。

その後東京、鎌倉・箱根を2日間観光のあと、富士山の美しい姿を眺めながら新幹線で西下し、京都・奈良をまわって、8日に当市入りしました。

チームの構成は13歳から17歳の女子中・高校生16人で、到着後すぐに市長・議長を表敬訪問し、サンマテオ市長から託されたメッセージを手渡しました。

滞在中は、ホストファミリーである豊中日舞協会の皆さんを始め多くの皆さん方の暖かいご理解・ご協力により、思い出深い6日間を過ごしました。

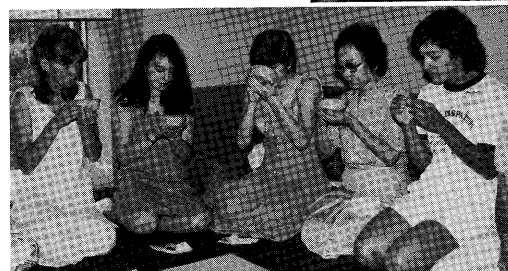


- 到着日の市役所前では、下校途中の高校生たちと身振り手振りで話しをしたりして、とても楽しそうでした。
- 翌日の9日は日本舞踊の見学と大阪城見物。
- 10日は中央公民館での練習と公演。そしてその後は茶華道連盟の先生のご厚意によるお茶席の接待。
- 11日には梅花学園に於いて女子中・高校生とジャズダンス並びに英会話交歓会。
- 12日には神戸観光と姉妹都市協会主催のお別れパーティー

など、多忙な日程でしたが、彼女達は少しも疲れを見せず、特にお別れパーティーでは、各自がホームステイ家庭で教わった「花笠音頭」を、日本の親達と一緒にパーティー会場いっぱいに踊ってまわり、アンコールの手拍子がいつまでもなりやみませんでした。

翌日、一行はたくさんの人に送られて大阪国際空港を飛び立ちましたが、彼女達が寝食を共にした日本の親や姉妹・兄弟と再会の堅い約束を交わす光景には、平和と友好の爽やかな空気がながれておりました。

このように、未来を担う若人がたくさん日本の文化や風俗を体験し、素晴らしい思い出をおみやげにし、又私達も国際化社会を迎えようとする中で貴重な経験ができましたことは、誠に意義ある事で、改めて関係者の皆さんに心から敬意とお礼を申し上げたいと存じます。本当にありがとうございました。



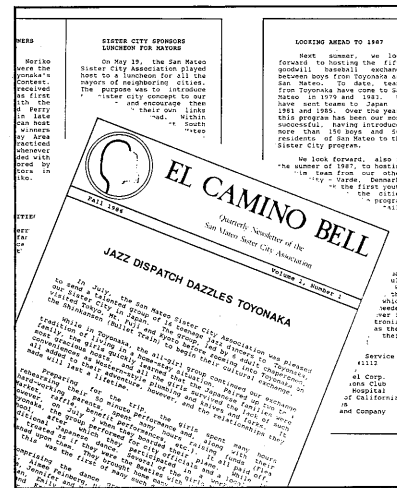
サンマテオ姉妹都市協会が協会紙創刊!

サンマテオ姉妹都市協会では、協会紙として「エルカミノベル」を創刊しました。

昨年秋に、豊中市市制施行50周年を祝うメッセージと共に送付されました。

サンマテオ市では、豊中市以外にも、デンマークのヴァルデ市とも姉妹都市提携をしており、それぞれの活動状況や今後の予定等の情報が掲載されています。

その主な記事をご紹介します。



◇1986年7月、当協会は豊中市に13歳から16歳の少女達によるジャズダンスチームを特使として派遣した。彼女達は日舞協会の皆さん宅でホームステイし、いろいろな事を学んだが、家族の皆さんは素晴らしい人ばかりだった。日本舞踊の稽古場でレッスンを受れたり、又たくさんの方の会場でジャズダンスの演技をし、交流に大きな成果を挙げた。この旅行の資金作りの為に、彼女達は両親と一緒に頑張って、ガレージセールや蚤の市、即興演技会等で大変だったが、まるでビートルズのようなもてなしを受ける等、有意義で楽しかった思い出が、すべてを忘れさせてくれた事でしょう。

◇豊中市から英語弁論大会優勝者達来訪

鳴田貴夫君(17)、安好則子さん(17)は1986年の豊中市高校英語弁論大会の優勝・準優勝者であり、褒美としてサンマテオ市に派遣された。

2人は、フランク・アラヤ氏とデービット・ペリー氏宅にホームステイし、すてきな夏休みを過ごした。

あつという間の1週間であったが、豊中市長と福盛会長のメッセージを携えて市長を表敬訪問した後、湾や水族館など多くの観光地をまわり、優秀な使節として楽しい思い出を残した。

◇姉妹都市とは

他国の市と米国の市の間に友好関係の輪を起し姉妹都市とする。目的は、お互いの都市と民衆をさらに良く学び、意義深い交歓の発展を続けることにある。

1956年にアイゼンハワー大統領がホワイトハウスにて提唱した「ピープル・トゥ・ピープル計画」により、都市交流の輪が拡大し始め、現在では米国内に750都市、海外には86か国・1,200を超える都市数にと成長した。



梅花高校の田中都さんが優勝

準優勝は桜塚高校の南郷葉子さん

田中 都さん



南郷 葉子さん

THE 15TH ANNUAL ENGLISH SPEECH CONTEST

62.1.31

第15回目の英語弁論大会が、大勢の皆さんを迎え、中央公民館で開催されました。

7校23名(うち男子2名)の高校生がサンマテオ市を目指して熱弁をふるい、昨年の大会で5位に入賞した梅花高校2年生の田中都さんが優勝されました。準優勝には桜塚高校の南郷葉子さんが1年生ながら健闘し、輝きました。お二人はサンマテオ市へ親善使節としてこの夏休みに10日間派遣されます。入賞者は別表のとおりです。

審査いただいた先生方からは、発音については差がなくなっているの、高校生と

してレベルの高い内容のものに期待したいとの意見が出され、来年からは従来の審査基準を発音重視から内容重視へと見直すことになりました。

順位	氏名	学校名	学年
優勝	田中 都	梅花高校	2年
準優勝	南郷 葉子	桜塚高校	1年
3位	塩井 順子	梅花高校	1年
4位	溝田 万理子	桜塚高校	1年
5位	三村 光弘	東豊中高校	2年

☆☆ 審査員 ☆☆

- デーヴィッド・ボールドウィン先生 (金蘭短期大学教授)
- ガリー・バック先生 (大阪明浄女子短期大学専任講師)
- 川合 隆子先生 (姉妹都市協会)
- 宮城 弘善先生 (四条畷高等学校教頭)
- 住吉 保男先生 (豊中市教育委員会非常勤特別嘱託員)



サンマテオ市を訪問して

安 好 則 子



サンフランシスコ空港ではペリーさん一家が最前列で手を振って歓迎してくれ、再会を喜び合った。(この夏ジャズダンスチームが来豊されたおり、我が梅花高校で交歓会がありペリーさんとは顔見知りの間柄でした。)ペリーさんご一家はとても親切で優しく、特にhost-mammaのシャーロンさんは私を気遣って、慣れるまで丁寧にゆっくりと話して下さいました。

初めての海外というだけでも興奮したのだが、見るものすべてが新鮮でもの珍しい気がした。

道路の幅は広く、両側には干し草のような茶色の草が一面に広がっている。空は真っ青で空気は澄んでいて気持ち良く、風はひんやりとして涼しかった。

初日、長女ジュニア(ジュニー)の運転でショッピングに出かけた。彼女は私に「運転する?」と車の鍵をさし出したが、私はお断りして日本の運転免許のルールについて話した。

アメリカでは16歳からとれるらしい。ジュニーは私と同年の17歳だが、私よりずいぶん大人っぽく見える。しかし趣味は同じのようで、Bonjovi(ロックグループ)が好きだそう。もっと英語ができたなら色々話しははずだろうにと思い、自分の会話力の無さを歯がゆく思った。その日の夜はお土産等をお渡しし、家族で楽しいひとときを過ごした。

妹のニコル(ニッキー)が大変気に入ってくれたもの一つに「百人一首」があった。かるたよりは出来ないで「坊主めくり」というゲームをした。この遊びは簡単なのですぐに覚えてくれて、時間のたつのも忘れて何回も何回も遊んだ。ニッキーは友達にも教えるんだと張り切っていた。ゲーム中に困った事はジュニーから「百人一首は詩のようなものでしょ?ちょっと

英語で言ってみて!」と言われたことだった。私は一瞬ぎょっとして目をみはった。予想外の質問ではあったが、日本の事を聞かれるのは嬉しかったので何とかして説明しようと努力し、文法も何も考えず、文字どおり単語を並べて訳した。ジュニーが一言一言を真剣に聞いていたので、私は夢中に辞書をひきながら話した。ジュニーはにっこり笑って、「訳してくれてありがとう、よくわかったわよ」と言ってくれた。私はそれを聞いて少し嬉しかったが、こんなことになるのだから「百人一首」をもっと詳しく調べて来るのだったと思った。

23日(2日目)遊園地グレートアメリカへ行った。ここではアイスクリームの甘さと量の多さに驚かされた。甘党の私もこれには舌を巻き、半分位でギブアップしてしまった。アメリカのケーキやクリームは甘い!と聞いてはいたがこれほどとは思わなかった。(おいしかった事はおいしかったのだが)

24日(3日目)サンマテオ市長さんとお会いした。予定とは違い同行の島田君(弁論大会優勝者)とは別に先に私だけでお会いすることになったので大そう緊張したが、市長さんは上品な方で、私の気分をほぐそうと色々優しくして下さいました。

この日の午後、家の前の芝生の上でジャズダンスチームの人達と一緒に騒ぎながら昼食を食べ、日本でのスライドや写真を見せてもらったりして遊んだ。この事を新聞社の方が取材に来られ、写真をたくさん撮っておられたが、翌日の新聞にその記事と豊中での弁論大会のスピーチ内容が掲載された。ここではカリフォルニア州の新聞とサンマテオ市の新聞の2種類があるそうで、記事が載ったのはサンマテオ市の新聞で、私



はそれを見て、嬉しさと恥ずかしさと照れくささで胸がいっぱいになった。

日曜日に教会へ行った。教会では「新聞見ましたよ!」と一人一人声をかけて下さりとても照れくさかった。

母校がキリスト教主義(プロテスタント)なのでアメリカの教会にも少し興味があり、ファミリーと一緒に出かけた。教会自体はそれほど大きくなく、普通の大きさだそうだが、パイオルガンがあり、「さすがだなあ…」と思った。礼拝そのものは日本のプロテスタントとかわらないのだが、説教の後に牧師と礼拝者との会話があり、(手をあげて身の回りの出来事を話す)その中でMr.ペリーは私を迎える事ができて嬉しいと話され、私は起立させられ、みんなから拍手をうけた。説教は難しくてわからなかったが、とてもAt homeな雰囲気良かった。

最後の夜には、サンマテオ姉妹都市協会の人々が、島田君のホストファミリーのブラウン家でパーティーを開いて下さり、親切で明るい方々に囲まれ楽しいひとときを過ごした。

私は中学に入り、初めて英語を勉強した時からアメリカへ行きたいという大きな夢を抱いていたが、まさかその夢がこんなに早く実現するとは想像もしなかった。

この一週間に学んだ事は、英会話は慣れることが大切だということ、積極的に何でもやるという事だ。また、今まで日本語は好きではなかったが、アメリカという英語の世界の中で日本語が懐かしく、その良さという

ものが改めて感じられた。何でも外国のものが良いという少し偏った考えを捨てる事ができ、そして日本にしか無い、日本の良さというものがあると思えるようになった。そして日本独特の良さをできるだけ多くの人々に知ってもらいたいという意識まで生まれ、今までは英語を役立てる職業に就きたいと思っていたのだが、今では日本文化を紹介できるような「日本語教師」になりたいと思っている。

このホームステイでも少なからず日本を紹介しようと、「そうめん」や「ぜんざい」を作ったり折り紙で遊んだりしたが、帰国してからはより強くそう思うようになった。

アメリカへ行き、アメリカの生活に触れることによって、一層日本に対する意識をはっきりと持つ事ができたように思われる。

とはいえ、アメリカという国はとても大きく、良い方々ばかりだったので、一週間では帰りたくない!もっと居たい!と強く感じた。また、ペリーさんご一家も私を「帰したくない」と言われ、空港では涙なみだの別れをし、とても感動的だった。たった一週間の間にこれ程まで「こころ」が通いあったというのは…。

最後になりましたが、色々お世話をして下さった豊中市の方々、姉妹都市協会の方々、素晴らしい体験をさせて頂き心から感謝しております。この体験は一生私の宝となるでしょう。

本当にありがとうございました。



▶ブラウン会長宅のパーティーにて



◀市長室にてパウエル市長と

サンマテオ市訪問記

嶋田 貴夫

We'll be landing at San Francisco International Airport ……

着陸前のアナウンスが流れました。緊張の一瞬です。これからの一週間、英語オンリーの生活が始まるのです。

税関でのチェックを済ませて外に出ると、姉妹都市協会会長のエド・ブラウンさん、安好さんのホームステイ先のペリーさん一家、そして少年野球チームのコーチであるジョージさんたちに温かく迎えられました。

ジョージさんは早速僕を愛用の赤トラックに乗せてサンマテオ市内見物へと連れて行ってくださるようになりました。サンマテオの名物は何かという、住宅一軒一軒がそうです。

“風光明媚な高級住宅都市”というだけあって、広く整備された道路沿いに立派な家が建ちならんでいます。ラビットハウス(うさぎ小屋)と呼ばれる日本の住宅とはえらい違い。プール付きの家も珍しくないそうで全くうらやましい限りです。実際ホームステイでお世話になったフランクさんやエド・ブラウンさんの家もなかなか立派なものでした。

また環境について言えば、地中海性気候に属しているためか夏は湿度が低く大変過ごしやすいのです。

ところで、アメリカ人というと、たくさん食事を食べるように思いがちですが、全く逆です。見たところかなり少食で、フランクさんなんか朝食はとらないと言っていました。

現在日本では、マスメディアなどを通してアメリカについての情報が氾濫し、その結果、日本人はアメリカ通であると思われているかも知れないけれども、その個々の情報は必ずしも正確ではなく、偏見や誤解に満ちている場合が少なくありません。

実際に行ってみると、今まで自分が描いていたアメリカ像と現実の間にギャップがあり、カルチャー・ショックを受けた事もありました。

例えば、ご存じのようにアメリカはフェミニズムの



▶市長室にてパウエル市長と

けでは相手は何も理解してくれませんから、何でも思い切って話してみました。

アメリカ人はユーモア好きで、僕も実際にジョークを言うと、相手側もいろいろなAmerican Jokeを教えてくれたりして、楽しく会話することができました。

たったの一週間で、しかも行動範囲も限られていた

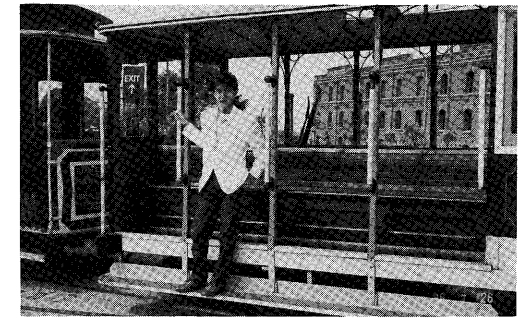
先進国であり、アメリカ女性=ストロングというイメージを持っていたのですが、決してそういうわけでもなく、どの人も大変親切に接してくれました。ただしレディーファーストの習慣はきっちり守られていて、日本にはないため慣れるまでしばらくかかりました。

外国に行っても自分の国のやり方で押し通す人もいますが、やはり“郷に入れば郷に従え”(Do in Rome as the Romans do)のことうざ通り、その国の習慣を認めて、それを実行してみたほうが、相互理解のために役立つのではないのでしょうか。

アメリカの家庭では一般に、外国からの訪問者を“お客さん”としてではなく家族の一員として迎えてくれます。滞在3日目にジェーン・パウエル市長にお会いしたときも、大変フランクなご対応をいただきました。サンマテオは人口8万人くらいの市ですが、行政機構が簡素化されていて、パウエル市長も別に仕事を持っているようです。

滞在中、英語力の面ではまだまだ未熟で、blue train(ブルートレイン)とbullet train(新幹線のこと)を聞きまちがえたり、お土産に持って行った風鈴についていた短歌の意味をうまく説明できなかつたりしました。

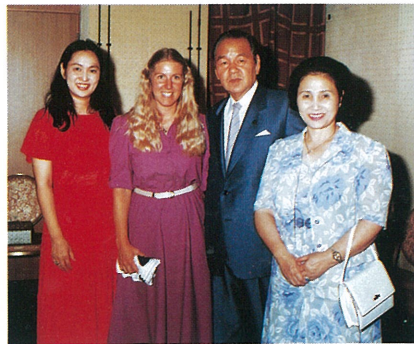
サンマテオで知り合いになった人のうち、かなりの人が来日経験のある人たちでしたが、その割には日本についての知識が乏しく、すこし驚きましたが、ある程度は日本の文化や政治について知ってもらえたのではないかと思います。アメリカでは、黙っていただ



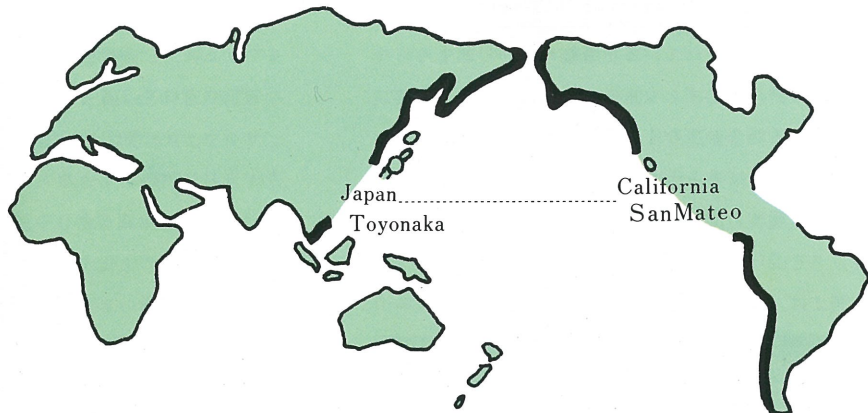
ため、とてもアメリカ社会の全体像をとらえる事はできませんでした。それにアメリカの抱える深刻な問題などには、全く触れることはなかったのですが、それでも今回の旅行から得たものは大きかったと思います。“変わった経験は失った時間よりも多くのものを与えてくれる” どうかこの格言は正しいと言えそうです。

広がる 市民交流

ことばや国境の垣根をこえての相互訪問は、ますます親善の輪を深めています。



- 7月8日 ジャズダンス特使来訪
- 7月13日
- 7月22日 嶋田貴夫君(英語弁論大会優勝者)、安好
- 7月29日 則子さん(同準優勝者)をサ市へ派遣
- 10月3日 サ市長から市制施行50周年を祝うメッセージ届く
- 10月15日 少年野球連盟への公式招待状届く
- 11月6日 姉妹都市・兄弟都市児童画展開催
- 11月9日



- 2月11日 サンマテオ姉妹都市協会(旅行担当)副会長ビクター・岩本氏来訪。少年野球団の訪問日程について打ち合わせ
- 4月26日 サンマテオ姉妹都市協会(豊中市担当)副会長ジェイク・大岩氏来訪。25周年記念事業(1988年)について打ち合わせ
- 5月6日 少年野球連盟役員サンマテオ市訪問に先立ち豊中市長訪問



今年度の事業から

少年野球チームがサ市を親善訪問

今年の夏、我々は第5回少年野球親善交歓を実施する。豊中から来るチームは、1979年と1983年に続いて3度目の来訪である。サンマテオからは1981年と1985年に豊中を訪問している。このプログラムは、2年置きに実施されている相互訪問で、我々サンマテオ市と豊中市との間のメインイベントのひとつである。

(協会紙「エルカミノベル」から抜粋)

少年野球チームの相互訪問は、昭和54年に豊中市少年野球連盟の選抜チームがサ市を訪問して以来継続しています。昭和58年、2度目の訪問の時には、現地で提携20周年親善訪問団と合流し、両市友好・親善の促進に大きな役割を果たしました。

私達が昭和56年と同60年に、サ市側チームを豊中にお迎えした時と同様、米国に於いても大歓迎の内にスポーツ交流を展開し続けています。

今年は豊中から遠征する年に当たり、サ市側から正式な招待があり、8月14日から24日まで、下記日程で親善訪問します。

尚、英語弁論大会の優勝・準優勝者も、少年野球チームに同行し、親善を深める事となりました。

日本時間	現地時間	日	程
8/14	14:40		大阪国際空港発 ユナイティッド航空810便
/15	1:20	8/14	8:20 サンフランシスコ着 市役所で歓迎会 協会主催夕食会
/16		/15	午前 第1試合 午後 バーベキューパーティー
/17		/16	大リーグ観戦、(試合前に豊中からの客を紹介) (SFジャイアンツ対LADジャース)
/18		/17	午後 第2試合
/19		/18	終日 サンフランシスコ観光(マリンワールドほか)
/20		/19	午前 第3・第4試合
/21		/20	終日 観光 サンタクルズ、ミステリースポット等へ
/22		/21	午後 第5試合
/23		/22	夕方 フェアウエル(さよなら)ディナー
/24		/23	終日 ロスアンゼルス
/25		/24	終日 ロスアンゼルス
/26	7:10 17:25	/25	14:10 サンフランシスコ発 ユナイティッド航空809便 大阪国際空港到着

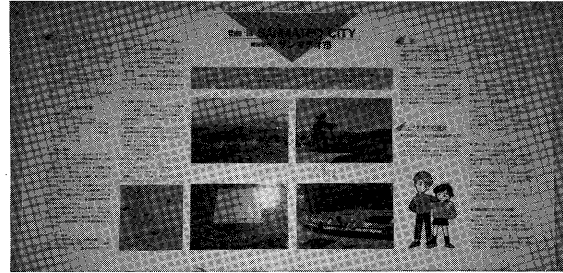




豊中市市制施行
50周年記念行事

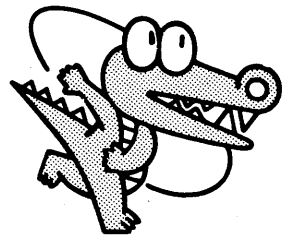
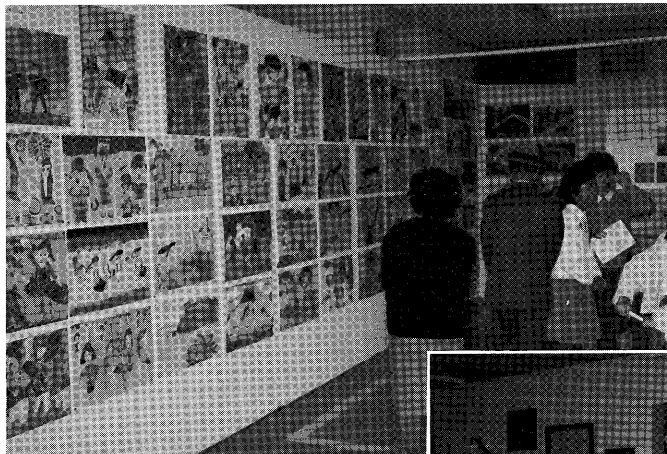
----- 姉妹都市、
兄弟都市児童画展から -----

豊中市は昨年、市制施行50周年を迎えました。10月15日の記念式典を始めとして、多くの行事・イベントが催されましたが、当協会でも、市を後援して11月6日から9日までの4日間、市立中央公民館において『姉妹都市・兄弟都市児童画展』を開催致しました。



これは“つなごう友情、えがこう私たちのまち”をテーマとして、児童の図画を通して交流することにより、それぞれの市を理解し親善を促進することを目的としたもので、サンマテオ市（姉妹都市）からはスケッチ画など約50点、沖縄市（兄弟都市）からは水彩画73点、豊中市からは180点の児童画の出展がありました。

会場では、フェルトペンで描いたゴールデンゲートブリッジやカリフォルニアの青い空、沖縄の民俗衣装の紫の色など豊かな色彩に多くの市民が足をとめ、期間中の入場者も3,300名余をこえ、姉妹都市・兄弟都市のPRになりました。



基金運用状況

昭和54年に姉妹都市協会の基金制度が発足して8年余りがたちました。

会員の皆様方の深いご理解と暖かいご協力により、基金事業の円滑な運営ができて、心から厚くお礼を申し上げます。

昭和58年に、初めて高校英語弁論大会優勝者をサンマテオ市に親善使節として派遣をいたしまして、以来毎年、基金規定にもとづき一部基金のとりくずしを行い、基金事業として優勝者と準優勝者（61年から）の派遣を実施してまいりました。

60年8月には、サンマテオ少年野球チーム並びにサンマテオ市長一行が来豊し、61年8月には、ジャズダンスチームの来豊がありましたので、この規定にもとづき基金の活用を行いました。今後とも基金の有効な運用を図ってまいりたいと存じます。

昭和62年3月31日現在（単位：円）

寄 付 者	年月日	金 額	利 息					元利合計
			54~60年度	取崩し金	61年度	取崩し金	利息計	
豊 中 ロータリークラブ	55.6.20	1,000,000	544,824	△ 508,758	64,510	-	100,576	1,100,576
豊中商工会議所	55.1.23	1,000,000	499,096	△ 462,685	62,426	-	98,837	1,098,837
豊中交通安全 自動車協会	55.7.28	1,000,000	453,290	△ 416,672	62,436	-	99,054	1,099,054
豊 中 ライオンズクラブ	56.3.31	1,000,000	363,818	△ 303,624	64,205	△ 91,080	33,319	1,033,319
豊 中 南 ロータリークラブ	57.3.25	1,000,000	294,810	△ 21,338	68,336	△ 303,600	38,208	1,038,208
廣 石 幸 一	57.3.29	1,000,000	278,876	△ 164,040	65,410	△ 141,680	38,566	1,038,566
豊 中 中 央 ライオンズクラブ	57.4.6	1,000,000	278,733	△ 164,381	61,560	△ 141,680	34,232	1,034,232
豊 中 南 ライオンズクラブ	57.10.27	1,000,000	238,523	△ 80,511	62,384	△ 182,160	38,236	1,038,236
豊中青年会議所	58.9.24	1,000,000	150,696	△ 115,065	64,338	△ 50,600	49,369	1,049,369
豊中大阪国際空港 ロータリークラブ	59.2.17	1,000,000	140,819	△ 73,848	64,169	-	131,140	1,131,140
基金取崩し残金	59.3.26	500,000	54,831	△ 37,392	33,100	-	50,539	550,539
豊 中 北 ライオンズクラブ	61.6.3	1,000,000	-	-	28,513	-	28,513	1,028,513
合 計		11,500,000	3,298,316	△2,348,314	701,387	△ 910,800	740,589	12,240,589

お知らせ

親善訪問団来豊の動き

昭和63年10月8日、豊中市とサ市の姉妹都市提携25周年記念日を迎えます。

サ市側では、記念日の前後に親善訪問団を派遣する準備を進めているようです。

当協会では、昭和58年に20周年を記念して、市長・市議会議員と共に親善訪問をしました。

協会では、素晴らしい祝賀行事に終始するように、来秋に向かって準備を進めますが、会員の皆様方のご協力を宜しくお願いします。

総合計画から……

府では、地球時代にふさわしい大阪づくりを掲げ、内外に開かれた大都市構想を策定。

北大阪地域は、国際文化ゾーンとして位置づけられました。

豊中市も昨年秋21世紀を目標年次とした新総合計画を策定し、新しい生活文化創造活動のひとつとして、あらゆる面でバランスのとれた幅広い国際交流の促進が盛り込まれました。

大阪府自治体国際交流 促進連絡会議が発足

昭和59年に大阪国際交流団体協議会が発足。当協会も加入し情報交換の場として幅広く活用しております。

また、この度は府下自治体の国際交流担当による連絡会議が発足しました。

これにより、国・府・各市と私達の事業が連係し、より効果的な国際交流が推進できることとなりました。



フローレンス・ローズ氏が サンマテオ市長に就任

1986年12月8日付で、ジェーン・パウエル市長に代わり、フローレンス・ローズ氏が市長に再選されました。

新市長は一昨年夏に来豊され、日本文化に造詣の深い方で、是非もういちど豊中市に来て頂きたいと思えます。

尚、新メンバーは次の方々です。

市長 フローレンス・ローズ氏
副市長 ジェーン・ベーカー氏
議員 ポール・ガンビンジャー氏
議員 ジェーン・パウエル氏
議員 ヒュー・ウエイン氏

ハル・大岩さんご逝去

長年にわたり、サンマテオ姉妹都市協会の会計として、豊中からの訪問者や弁論大会優勝者、少年野球チームの皆さんをお世話してくださりましたハル・大岩さんをご逝去されました。

両市の親善・友好に尽くされたご功績に心から敬意を表しますとともに、ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。